

# シャンティ山口 ニュースレター 第140号

発行：2019年3月31日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦  
連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083  
ホームページアドレス：<http://shanti-yamaguchi.itigo.jp/>

## 平成30年度(2018年)ダイジェストレポート

### 報告事項

#### ・4月5日 シャンティ山口理事会・事業監査

##### ■決定事項

以下理事会審議事項について総会の議題として提案することを決定

- ・平成29年度事業実施報告書(案)及び平成29年度活動計算書(案)
- ・平成29年3月31日現在 貸借対照表(案)・財産目録(案)
- ・平成29年度事業監査実施
- ・平成30年度活動計画書(案)及び平成30年度活動予算書(案)
- ・総会予定 平成30年6月3日(日)午後6時から8時まで「慶雲寺」に於いて行う 以上

#### ・4月12日～5月29日 プロジェクト現地調査(平成30年度年間事業、現場管理、地域支行政・援先状況等スタッフミーティング)

#### ・4月13日 タイのお正月ソングラン(水かけ祭り): シーカアジア財団用務でバンコク経由で遭遇



バンコク ルンビニ公園付近の路上(近年は、歩行者専用道路の会場が特設されバケツや水道ホースから水鉄砲に変化しました。)

#### ・4月21日～4月27日 名古屋愛ラン会・蘭科植物調査ツアー

名古屋愛ラン会の皆様、北タイラオス国境沿いの野生植物に調査にお越しいただき1週間にわたりご案内しました。あいにく異常気象の中、開花予想が外れ万輪の花は、ほとんど見る事ができませんでしたが自生地のたくさんの種類の生息状況を観ることができ少しは、お楽しみいただけたと思います。(次回訪問のチャンスがあれば、万輪のお花を観賞したいですね。)多くの支援の物品わざわざ日本からお持ちいただきありがとうございました。早速、学生寮と保育園に届けました。



Phu Lang Ka (1,720m)

メンバーからのプレゼント（野菜の種・学用品）



シャンティ学生寮



ホイドウア村保育所



チェンカムの通常の朝市（ここより10 km先にシャンティ山口事務所あります。）



・5月7日 ナムカー村 Green Fund 事前調査（2019年度助成金申請中のナムカー村の調査を行いました。）



荒廃地(100ha)の内 2019年度(22ha)をトモロコシ栽培から果樹(5,200本)に転換します

・5月8日 ナン県のシャンティ寮卒業生を訪ねました。（あいにく山の畑に行ってお留守だったのでお母さんに様子を尋ねました「寮生活のおかげで村のお世話など人思いの息子に育ち毎日元気で農業に励んでいます。孫3人と嫁と共に自慢の家族です。」（彼は、24歳で高校1年生からの寮生でみんなの面倒をよく見てくれて思いやりのある寮生として記憶に残っています。）



村の様子



卒業した寮生のお母さんと佐伯

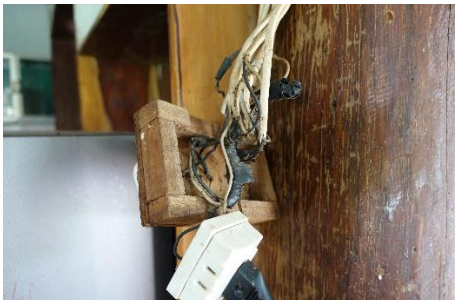


13年前トイレ作業手伝いの彼（右前）

・5月10日 シャンティ寮設備 経年劣化調査（修繕改良実施計画書作成）・一部修繕取り換え作業  
今回施設全般にわたり調査をしました。シーカーアジア財団と協議を行い資金調達のめどが立ち次第順次修繕を実施する予定です。



井戸ポンプ（取り換え）



炊飯器用コンセント・スイッチ（取り換え）



食卓テーブル（ビニール替え・塗装）

## ・5月27日 現地事務所お隣さんの“黄金の繭”

この地区は、難民をはじめ貧困家庭等のために50年前ごろから開放された地区で国内各地から入村していて、特に山岳民族（モン・ミエン）、東北タイのラオス系民族で形成されています。東北タイからの人たちは、シルクの原料の蚕の飼育をしている家庭も数件あります。（以前からどうして桑の木畑があるか疑問に思っていましたでしたがこれで解明しました。が、“黄金の繭”はどうして??



“黄金の繭” “つむぎ” 仕事のおばあさん（東北タイから“黄金の繭”を持ってきたと聞きました。）

## ・6月3日 平成30年度シャンティ山口通常総会（第139号参照）

### ■決定事項

- ・平成29年度執行状況報告及び活動計算書（収支決算）についての承認
- ・平成30年3月31日現在 貸借対照表についての承認
- ・平成30年3月31日現在 財産目録についての承認
- ・平成29年度監査報告についての承認
- ・平成30年度事業計画及び活動予算（収支予算）についての承認
- ・その他項目「シャンティ学生寮」老朽化に伴う修繕計画については、理事会において協議検討会を設け、資金調達募金活動・修繕箇所・予算執行等についてシーカーアジア財団との協議を行い年度内実施で決定。

以上

## ・6月6日 ホイプム村に学校ができた。

当面、下の村で寄宿舎生活していた保育園児から4年生までが村の学校で授業を受けることになったが5、6年生は、校舎増設後村に帰ってくる計画でスタートしました。（PHAYAOレポート2018-01参照）

## ・8月22日～8月30日スタディーツアー（徳島大学・山口県立大学）（PHAYAOレポート2018-02参照）



シャンティ寮での農作業（タニシの駆除）



寮生の通う高校3年生と日本語と英語学習



ホイプム村 ホームステイ先の合同交流会（お餅つき・モンの踊り・ケーンの舞・阿波踊り）



お別れ



## ・3月6日～3月28日プロジェクト現地調査（年間事業状況評価・課題）

・3月9日シャンティ学生寮卒業生を送る会 (SVA アジア地域ディレクター・SAF 事務局長、スタッフ3名、インターン生2名・シャンティ山口事務局長参加)



食事の準備



「大空へはばたきの」セレモニー



みんなで記念撮影(卒業生11名)

・3月11日～3月14日 カンチャナブリ県 サンカブリ「虹の学校」訪問

6年前「虹の学校水沼朋子先生」がパヤオのトイレプロジェクトを見学に来られ、ぜひ自然循環式トイレを採用したいと思われていました。今回施設移転に合わせて計画のアドバイスを依頼され、ジッポンスタッフと共にパヤオから夜行バスを乗り継ぎ18時間のバス旅でした。一昨年現地の事情から施設の退去を余儀なくされ仮施設で1年を過ごし、ようやく今回新地の取得ができたため、水回り・トイレを先に建設が開始されました。(設置場所や方式のアドバイスをしました。)施設には、ミャンマーからのストリートチルドレンや国境付近の親のいない子供たち30名が学校兼生活の場として寝食を共にしながら頑張っています。



新建設地(1.3ha)・完成の井戸(みんなで掘り上げました)



昼食(子供たちが作ってくれたご飯、おいしくいただきました)

・3月22日 ロイヤルプロジェクト Doi Nongha 村 訪問【4民族(アカ・ラフ・カレン・ミエン)11世帯(53人)小学校児童5名・社会教育施設兼、先生1名・国境警備隊4人交代制・保健所(時々巡回1人他必要に応じて開設)】



イチゴ畑(標高1,200m)



パック詰め(チェンカムの市場で販売)



自然栽培コーヒーの天日干し(アラビカ種)

・3月24日ホイプム村(元村長出稼ぎ先の職場仲間からの支援物資)一時帰郷村へのお土産



教室ができるまで2か月間青空教室学習



元村長さんからのユニホームプレゼント



シャンティ山口から“すこやか保育”

～環境支援募金にご協力をお願いします。～